

# ポット型雰囲気焼鈍炉

## ELP・EMP・EHP 型

EHP型



EMP型



### 特性

- ELP・EMP型は強力な流気ファンを装備しています。炉内の温度分布、雰囲気均一化が得られるとともに、冷却の際にも大きな効果を発揮します。
- 加熱炉本体、衝風冷却ブローワー及び精密制御盤により構成されます。
- 冷却槽を別途設置し、冷却速度を早めることができます。
- 加熱容器はパッキンを用い、完全密閉で保護ガスを一方的に送入し置換します。
- 可燃性の保護ガスの場合は、排気口で燃焼させます。また作業前後に窒素ガスを導入して爆発防止するなど、安全衛生面には十分な配慮をしています。
- 工場に設置されたクレーンにより出し入れを行いません。

型式	用途	対象	処理温度	雰囲気ガス
ELP	液体化処理 人工時効	マグネシウム合金	380~420℃ 170~230℃	N <sub>2</sub>
	焼なまし	黄銅・洋白・燐青銅	400~600℃	N <sub>2</sub> +H <sub>2</sub>
	時効硬化	ベリリウム銅・クロム銅	300~500℃	CO <sub>2</sub> , N <sub>2</sub>
	応力除去焼なまし (プレス製品)	ステンレス板・銅合金板	250~350℃	CO <sub>2</sub> , N <sub>2</sub>
EMP	焼なまし	低珪素鋼板・純鉄	700~800℃	N <sub>2</sub> +H <sub>2</sub>
EHP	焼なまし	SUS304等のステンレス鋼 ・パーマロイ	1100℃	H <sub>2</sub>
	焼なまし	高珪素鋼板	800~900℃	N <sub>2</sub> +H <sub>2</sub>
	ろう付け	燐銅ろう・銀ろう・銅ろう	1050℃	N <sub>2</sub> +H <sub>2</sub>